

平成28年度事業計画

事業計画方針

因幡街道ふるさと振興財団は、平成13年に石谷家住宅の一般公開を開始してから4月20日で15周年の記念となります。

昨年は4月から全国的に観光バス料金が昨今のバス事故の影響で大幅な料金改訂がなされ、観光バスツアーの入りが大幅に減った状況が一年続きましたが、安部政権の新一本の矢が国民に浸透してくれば、強い経済、安心の社会保障に促され当館の第一の顧客層である年配者の動きも出てくると確信しています。

そこで、平成28年度は15周年を目玉にPRして更に充実したイベントを開催してさらなる入館を促していく所存です。

3年間行ってイベントとして定着して好評ある、どま de コンサートも引き続き今年度も行う予定です。

1 役員会

(1) 理事会 (予定)

H28.05. 平成28年度(一般財団法人)因幡街道ふるさと振興財団第1回理事会

- ・平成27年度事業報告
- ・平成27年度収支決算報告

H29.03. 平成28年度(一般財団法人)因幡街道ふるさと振興財団第2回理事会

- ・平成28年度収支補正予算について
- ・平成29年度事業計画について
- ・平成29年度収支予算について

(2) 評議員会(予定)

H29.06. 平成28年度(一般財団法人)因幡街道ふるさと振興財団評議員会

- ・平成27年度事業報告
- ・平成27年度収支決算報告

2 事業内容

(1) 文化美術品展示事業

ア 15周年記念事業 石谷コレクション(狩野派の絵師たち)展

石谷家より県立博物館に寄贈している数多くの美術品のなかから、今回は石谷家住宅公開15周年を記念するにふさわしく「狩野派の絵師たち」と題して、狩野尚信の襖絵他7名の狩野派絵師の美術作品を紹介します。

イ 橋本興家版画展

八頭町(旧船岡町)出身の橋本興家は日本を代表する版画家である。特に城をテーマとした版画には定評があり、昨今の城ブームの中で全国的に有名な城を橋本興家の作品で紹介することは良い機会です。これらの作品は、出身町である旧船岡町が所蔵していて、現在は八頭町中央公民館が主管で管理しています。

ウ 山川かずお日本画展

鳥取市在住の日本画家山川かずお氏は、1985年のオランダ美術賞展で入賞したあと世界的に人気のでた日本画家。特に山川氏の代表作「夢にむかって」「濤の華」の襖絵は見物です。また、同展に併せ山川氏が主宰する木彫り教室の木彫り作品も展示します。

(2) 文化施設交流事業

ア 池田家墓地パネル展・写真展

鳥取藩主池田家墓地保存会主催の公募写真展の展示会場として展示室を提供致します。

イ 中村仙一手作りミニ SL 展

鳥取市在住の中村仙一さん自作のミニ SL を展示。ミニと言っても N ゲージ等の玩具ではなく 1 m を越す 8 分の 1 スケールの迫力の有る作品。

中村さんは高齢であるため、後々の作品の所蔵を考えていたところ、昨年八頭町が寄贈を受け、ミニ SL 展示館作る話しが纏まり所蔵は八頭町となる。

今回の展示は、八頭町のミニ SL 展示館に先行して展示を行います。

(3) 観光振興事業・国際交流事業

ア 石谷家のお雛様展

石谷家のお雛様と智頭の町並み。毎年恒例行事として全国に発信。

智頭町・石谷家住宅の知名度を高め観光客を増やして参ります。

イ 智頭夏祭りや智頭宿雪まつりと連携。

石谷家住宅「土間」をコンサート会場として提供。

ウ 五月人形展、花菖蒲展

女の子のお雛さま展だけでなく来年度は、男の子の端午の節句に因んだ展示を企画しております。

(4) 文化財保護啓発事業

ア 智頭枕田遺跡展

智頭枕田遺跡は縄文時代のいにしえの頃より智頭は独自の文化を持っていたことを証明する貴重な史料です。現在は旧土師小学校で展示及び引き続き調査がされていますが、智頭の歴史・生い立ちを県内外の多くの方に知っていただきたく来年度の展示を考えております。

イ 鳥取県伝統工芸士展

昨年に続き第4回目の展示会。鳥取県に伝わる伝統工芸作品を毎年違ったジャンルでの紹介することで、県外からのお客様に鳥取県の伝統工芸品を理解していただく機会を設けます。

(5) 石谷家住宅の管理運営

ア 文化財としての建物及び庭園の管理

庭園特別公開 5月・11月

国登録及び鳥取県指定名勝地「石谷氏庭園」の魅力と庭園から眺める石谷家住宅を楽しんでいただきます。

イ 石谷家住宅の施設管理、防火訓練（年2回実施）

消火設備設置位置の確認と消火器具の点検、避難訓練。